

	そう思う	(%)	どちらともいえない	(%)	そう思わない	(%)	介護の仕事は、
Q1 ①	81	58	41	31	16	11	誰にでもできる仕事ではない
②	93	68	37	27	7	5	私にとって尊い仕事である
③	69	50	41	29	30	21	他の人から尊敬される仕事である
④	17	12	17	12	104	76	身体的・精神的な負担が少ない
⑤	105	76	37	22	3	2	やりがいがある
⑥	104	76	15	12	15	12	専門的な知識や技術が求められる
⑦	17	14	36	28	76	58	途中で退職する人が少ない
⑧	109	81	20	14	8	5	今後必要性が高まるので将来性がある
⑨	90	67	36	27	9	6	家族は介護の仕事へ就職することを賛成してくれる

Q2 イメージに変化があった ネガティブ編

- ・食事介助が一番大変。注意していないといけないから
- ・入浴介助、おむつ介助が大変。
- ・介護記録が難しい（外国人）
- ・油断をしないこと。利用者さんの安全が一番大切
- ・バイトをしている施設とルールが違っていたので大変だった
- ・実習前はとても面白いと感じていたが、本当に排泄が大変だった
- ・夜勤が長くて大変。
- ・**デイ、特養、老健に実習に行ったがどこも人手不足。職員一人の負担が大きい。結果レクや利用者個々への関わる時間が少ないと感じた。最期をその人らしく過ごす手伝いをしたいと思って目指したが、現実が遠く就職につなげようと思えなかった。**
- ・すごく忙しくて、やりたいこともできなくなってしまう。メンタルストレスも高くなる
- ・利用者とのコミュニケーションが大変だった
- ・職員の人数が少ない。利用者全員の要望に応えるのは難しい
- ・会社は同じだったけど、利用者の安全のための考え方が全然違っていった

・一人ひとりの価値観や知識、技術が異なっているためサービス提供の仕方も意識も
本人次第なのだと感じました

- ・知識、礼儀が必要ではないのか？
- ・人間関係の難しさを感じた。柔軟に欠ける組織体制であるとも感じた。
- ・思ったより力を使う

・勤務時間帯の変動や休日など正社員の働き方には改善の余地が必要だと思う

→テーマ1で参照

- ・仕事に追われ画一的なケアになりそう
- ・人手不足をどのように補って利用者さんと向き合っていくのか、理想と現実の違いを感じた
- ・最新の支援技術が浸透していない部分がある

・時間でトイレや食事が決められていて、流れ作業のようにやっているところがあり自分の親が
そのようにされていたら許せないし、まだそういうところがあるんだと感じた。

・想像していたとおり、過酷な現場で人を選ぶ職だと思った。

→テーマ1で参照

- ・施設によって差がありすぎ。給料本位のところや利用者本位のところがあり、経営者の考え方の差なのか？
- ・施設によって介護の考え方、やりかたに差がある
- ・思っていたより業務的だった

・学校では個人の尊厳、利用者主体、とあるが現場ではその教育が行き届いておらず効率を重視している。
スタッフ共通の意識が薄い。

- ・「組織風土」の問題。サービス残業が毎日発生している。影響力の強い人が「使命感」によって30分～1時間の奉仕を行っている。同調圧力があり残業をしないものはやる気を問われている
- ・マスクや感染対策の現場をみて驚いた。プライベートでも制限がかかっている苦勞が多いな、と思った。
- ・教育体制や介護技術が古いやり方で行われていた。
- ・身体的、精神的負担が大きい。職員の多くがコルセットや湿布をしていた。
- ・場所によって雰囲気やスタッフの態度が全然違って、今まで見えなかったものが見えた。
- ・忙しい業務の中で、学校で学ぶような介助が実践できていない現象を知った。（介助時の声掛けの頻度、両手で2台の車いすを押す、一部介助で移乗できる利用者でもフロアで車いすのまま、など）
- ・現場のほとんどの介護職は利用者の生活の質が向上するためと考えて仕事をしているが、現実には施設や職員の業務都合を優先せざるを得ない場面も多く、利用者の生活の質の向上とは離れてしまっているのではないかと。

イメージに変化があった ポジティブ編

- ・ 7～8年前に介護（医療）現場で働いていた。学生として徐々に現場に入った。設備（居室、浴室、トイレなど）の向上、職員の研修システム（教育制度）、組織内連携の向上を感じた
- ・ **介護はすごく辛いと思っていたが、利用者とのかかわりがたくさんあって、とてもやりがいがあると思った。**
- ・ 記録がタブレットになっていた。仕事が終わったあとの満足感、利用者が喜ぶ顔がうれしかった。
- ・ 職員たちのコミュニケーションがよかった。常に知識や技術向上に努めていかなければならない身のしまる仕事です
- ・ 実習施設はきれいな環境で、福利厚生もしっかりしており、残業もなく3Kのイメージがなくなりました
- ・ 介護の仕事は思ったより楽でした
- ・ 最初は自分ではできないと思っていたが、職員のアドバイスや意見を学び、やりがいがある仕事だと思った。
- ・ **手順や歴史的背景をしっかり学んでから介護に関わるべきだと思った。学校で学べき必要がある必要があるくらい大変な仕事だとも思う。**
- ・ 利用者のことを第一に考えていた
- ・ **学校で学んだことの応用やさらに高いレベルのものを求められることを感じた。**
- ・ 利用者のことを考えた環境づくり、利用者主体の介護をしていた
- ・ **職員が嫌々働いているイメージがあった→やりがいを感じてアイデンティティとして捉えている人がいた
→介護することに自分が見つけていない生きがいを感じることができる**
- ・ 介護士は一方的ではなく、利用者主体で尊厳の保持が大切だと理解した

(%)

Q 3	1	32	23	法人（施設・事業所）の理念
	2	134	97	給料・賃金
	3	76	55	労働時間・休日等の労働条件
	4	70	50	勤務場所
	5	40	29	職場の環境（バックヤードの充実度）
	6	73	52	職場の人間関係・コミュニケーション
	7	17	12	福利厚生の充実度
	8	26	18	教育方針や能力開発等のキャリアアップ制度
	9	16	11	介護実践の内容

- Q 4
- ・コミュニケーションについて。普段と違い何か気をつけていることなどがあれば知りたいです
 - ・指導者になるには？資質など。指導者の役割は？どんな仕事？指導者が必要な理由は？
 - ・介護業界の今後の可能性についてきいてみたい
 - ・**認知症の方への介助、コミュニケーションにおいて、まず新人職員に伝えておくことはなんですか？**
 - ・テキスト内にはない、認知症のかたの驚くべき行動を知りたい。
 - ・介護をしていて、利用者さんに「スポッとほった介護」の事例
 - ・やりがいを感じたタイミング
 - ・認知症の人がどのように見えているのか体験してみたい
 - ・実践している認知症ケアとはどんなものですか？
 - ・自分の子供に介護の仕事を勧めますか？一生の仕事として介護を勧めますか？
 - ・ユマニチュードやパーソンセンタードケアがどの程度実践されていますか？
 - ・楽しいですか？
 - ・老々介護をしている祖母が認知症の祖父に対するストレスを取り除いてあげれる方法を知りたい
 - ・繰り返し同じ話をしている利用者様には耳を傾けて聞くことしか対策としてないのでしょうか？
 - ・**人材不足のなか、個別ケアを尊重しながらどう生活支援をするべきか？なにを優先するべきか？**
 - ・どのような認知症ケアを実践していますか？
 - ・利用者に対して、くだけた声掛けがどこまで許されるか